



分園 1 歳児

りすぐみだより



R3. 8. 1 発行

ようやく梅雨が明け、眩しい太陽の日差しと共に夏がやってきました。

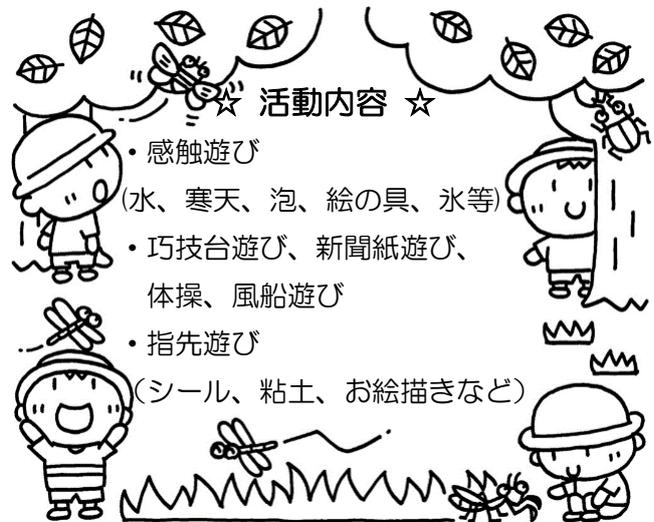
タライに水をはって、水遊びを始めました。高月齢児の子は、玩具箱からジョウロやスプーンを取り出して水の汲み換えや、水鉄砲に興味を示して一生懸命水を出そうとしたり、保育者や友だちに水をかけられると大喜びしていました。低月齢児や水が苦手な子は、最初は立ち尽くして水を触ろうとしなかったり、顔に水がかかると嫌がることもありましたが、保育者が腕や足に水をかけたり、友だちが遊んでいる様子を見ていると、自分で水に触れることが出来るようになり、水の心地よさを感じ始めています。

今月も水遊びの他にも、氷や絵の具を使って感触遊びを行うなど夏ならではの遊びを取り入れていこうと思います。また、本格的に気温が高くなるので、子どもたちの体調に配慮しながら、水遊びやシャワーを浴びて、涼しく過ごせるようにしていきます。



☆ 今月のねらい ☆

- ・夏の遊びをする。
(水、氷、ポディーペインティング)
- ・保育者と一緒に着脱しようとする。



☆ 活動内容 ☆

- ・感触遊び
(水、寒天、泡、絵の具、氷等)
- ・巧技台遊び、新聞紙遊び、
体操、風船遊び
- ・指先遊び
(シール、粘土、お絵描きなど)

～ズボンのお願い～

最近では、保育者がズボンに足を通してあげると、自分でズボンを引っ張って上へあげようとする子が増えてきています。まだまだ、保育者や保護者の手伝いが必要ではありますが、大人が全てやってしまうのではなく、子どもたちの“自分で”という気持ちを育てていきたいと思ひます。

そのため、ズボンの素材は伸縮性があり、ゆとりのある着脱しやすいズボンの準備をお願い致します。また、持ち物の名前が薄くなっている物がありますので、再度確認し、記名をお願いします。